

平成27年度 政策づくり塾

地域公共政策活動報告会（第12回活動）報告

塾活動の総まとめとして、塾生が企画・立案し、実際にまちに出て実施した活動についての報告会を開催。塾生の職場の上司や同僚などが聴講に來られ、熱のこもった発表に聞き入っていました。

活動報告

「～舞鶴Uターン大作戦～」グループ（曾根、山田、五嶋、後藤）



- ◆活動を通じて学んだこと：「普段会話をしない方と出会えた」「取材を冊子の記事にすることのむずかしさを学んだ」「塾生自身のやる気・愛郷心が増したこと」
- ◆気付いたこと：「取材をした人皆が前向きで舞鶴が好き」「若い人にも舞鶴を良くしたいという思いがある」「やりがいを持ち、明確なビジョンを持っている人が多い」
- ◆今後期待できること：「今回の取材の協力者同士の交流や異業種連携の機会」「業種・人紹介の連載」「定住促進への活用」等

「よみかたり～隊-かぞくでたのしむ絵本のよみきかせ～」グループ（白崎、坂本、半林、永野）

- ◆活動で気づいたこと：「商業施設でも絵本の読み聞かせはできる」「親（特に父親）の意識の変化がよみきかせの習慣化への一歩となる」「社会性・感受性・想像性の豊かな子どもの成長は市民レベルの向上につながる」「絵本は子どものみならず大人も魅了する」
- ◆最後に読み聞かせの実演を行った。「おこりじぞう」という原爆を題材とした本を塾生がしっかりと読み聞かせしたところ、会場内はジーンと感動した静かな雰囲気包まれた。



「HAPPYクリーン大作戦！！～恋する舞鶴赤れんが～」グループ（櫻井、武田、中瀬、森）



- ◆イベントを振り返って
 - ・企画内容の立案、参加者集めなど準備は想像以上に大変だった。
 - ・行政の行う婚活はトレンドだが、今後の婚活のあり方については、民間・行政の連携、府婚活センターなどノウハウの活用、効率的な婚活情報の発信などが必要ではないか。
- ◆プロフィールビデオの試作品の上映も行い、婚活会場の雰囲気を再現することができた。

【市長の講評】

大変素晴らしい活動ばかりで、刺激やヒントをいただき、本当にうれしく思う。Uターンの冊子については、“舞鶴には仕事がない”と思われがちだが、そうではないということ子ども・学校・親に知ってほしいと思っており、その啓発になる素晴らしいものだと思う。

よみきかせイベントについては、自分も母に本を読んでもらった記憶があり、親子の絆という視点で大変大事なことだと思う。婚活イベントについては、昔は“婚活は行政のやることではない”と思われていたが、安心感のある行政の婚活が必要とされる時代になっている。いずれも、少子高齢化、人口減少、結婚年齢の上昇、人と人のきずなづくりというまちの課題への一つの答えをいただく活動だったと思う。

【窪田塾長の講評】

今年の塾生は比較的年齢層が若く、自由な発想で活動され、どのグループも大変充実した内容だったと思う。何よりも楽しんで活動をしてくれたのが良かった。Uターンの冊子グループは、昨年度の塾の結果を活かして素晴らしい冊子を作ってくれた。大変な作業を終えて、楽しかったと言ってくれてよかった。よみかたりグループは、民間や修了生の協力を得られたことが良かった。この活動は今後も是非続けてほしいと思う。婚活グループは、公共が行う有料の婚活イベントという難易度の高いものを盛り上げてやれた。このノウハウを是非フィードバックしていただきたい。

最終活動

2月26日（金）18:00～19:30 舞鶴市役所 会議室 修了式と市長との懇談を行います。